

総 評

国語をのぞいて、どの教科も得点が伸びませんでした。

入試本番まで残りわずかとなりましたが、ここからはあまり手を広げず、重要事項の定着をはかりましょう。

今回のようなテストにしろ、問題集にしろ、できなかったところや、知識があやふやなところは、そのままにせず、見直しや解き直しを行うことが大切です。ミスや間違いはチャンスと考え、実力をのばすきっかけにしてください。

第1回の試験でも書きましたが、入試では「満点をねらう」のではなく、「解ける問題を確実に得点する」ことがポイントです。志望校の出題傾向やレベルをつかみ、弱点の補強や重要事項の確認などの準備をしっかりと行って下さい。

国 語

やや易しい出題となりました。

㊦は、全体によくできていましたが、解答の文末が整っていないものが多くありました。問四と問七はどちらも、基本的には「……こと。」という文末で答える必要があります。しかし、「……から。」で終わっている解答が少なくありませんでした。問題文の問い方に合った答え方ができているかどうかを、よく見直しましょう。㊧は、全体的によくできていました。㊨は、問三・問五・問七が難しかったようです。問五は、「そのなか」が指す内容を正確にとらえる必要がありました。説明的文章では、「その」や「それ」、「これ」といった言葉が指す具体的な内容を説明する問題がよく出題されます。説明的文章を読んでいるときに、そのような言葉が出てきたら、それが何を指すのかを確認するようにしましょう。

算 数

難しめの出題でした。

①はどれも基本の問題です。間違えた人は必ず復習しましょう。③の(2)、平均から逆算する考え方は重要です。他の問題でも利用できるように、よく確認しておきましょう。④のような図形の問題は一見すると難しいですが、適切な図形の性質を組み合わせたり、線を引いたりすることで、答えまでの道筋が見えてきます。⑤は入試でも頻出の問題です。模はん解答や解説を確認して、記述で解答、表現する際のポイントをおさえましょう。⑥は難問でした。記号や図を利用して状況よくをわかりやすく整理し、くふうして解きましょう。

算数で重要なのは、問題の見方や考え方です。解けなかった問題を復習する際は、解説をよく確認し、「考え方」を理解するように心がけましょう。

社 会

難しい出題でした。

①と②は地理分野の出題でした。①は、(6)③の地図記号の問題の得点率が非常に低くなりました。基本的な地図記号は覚えておきましょう。②は(4)の得点率が非常に低くなりました。資源の輸入先については上位の国を確認しておきましょう。③は公民分野の出題でした。(3)の義務の内容を書く問題では、「教育を受ける」などと書いた解答が目立ちました。④と⑤は歴史分野の出題でした。この分野では法令や政策の名称などを何となくでしか覚えていない答案が目立ちました。歴史が苦手な人は教科書などの年表を利用して流れをつかみ、各時代に政治を行った人物、行われた政策についてまとめておきましょう。

理 科

難しい出題でした。

①は、(3)が難しかったようです。計算内容自体は簡単ですので、考え方を理解しておきましょう。他は、基本的な内容だったこともあり、よくできていました。②は、知識が必要となる問題があったものの、(2)はしっかりと考えて記述できていた答案が多くありました。③は、全体によくできていました。文章を読み、しっかりと考察できていたようです。④は、太陽・地球・月の位置関係の変化を実際に見ているイメージで考えるとよいですよ。⑤は(1)は基本的な内容ですので確実に得点したい問題でした。文章量が多く、設定が簡単ではなかったこともあり、(2)と(3)は正解できなかった人が多かったようです。⑥は思考力が必要となるものが多く全体に難しかったようです。

総合(適性)

難しめの出題でした。

①は、(5)と(6)が特に難しかったようです。サイコロの向かい合う面の目の和が7になる性質を適切に利用することが必要でした。②は、資料の読み取りを中心とした出題でした。資料内の数量や資料どうしの関係を正確に読み解く力を身につけましょう。③は、「もし〜なら」と仮定して、それぞれの場合について考えられるかがポイントでした。④は、札幌開成中でもよく出題される形式の文章記述問題です。テーマを選んだあとに「紹介したいもの」が具体的に書かれていない解答が目立ちました。指定されたすべての条件を満たし、だれにでも伝わるように表現する力を身につけましょう。文章記述問題では、書いた文章を必ず読み直し、誤字や文法的な誤りがないか確認する習慣をつけましょう。